

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 5 区分

【発行日】令和 5 年 11 月 7 日(2023.11.7)

【公開番号】特開 2021-95667(P2021-95667A)

【公開日】令和 3 年 6 月 24 日(2021.6.24)

【年通号数】公開・登録公報 2021-028

【出願番号】特願 2020-195905(P2020-195905)

【国際特許分類】

D 2 1 D 1/30(2006.01)

B 0 2 C 7/04(2006.01)

【F I】

D 2 1 D 1/30

B 0 2 C 7/04

10

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 10 月 27 日(2023.10.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

リファイナードディスクであって、

前記ディスクの前面上の叩解ゾーンと、

前記叩解ゾーン内の叩解バーと、

前記バーの間の溝と、

前記溝のうちの少なくとも 1 つの中に少なくとも 1 つの回転誘導要素と、を備え、

前記少なくとも 1 つの回転誘導要素が、リーディング側壁、リッジおよびトレーリング側壁を備えた半螺旋状要素であり、

30

前記少なくとも 1 つの回転誘導要素が、前記少なくとも 1 つの溝を通して流れる供給材料に螺旋流を付与するように構成されており、

前記少なくとも 1 つの回転誘導要素が、前記少なくとも 1 つの溝の少なくとも 1 つの側壁の上又は中に配置されている、

リファイナードディスク。

【請求項 2】

曲線状表面が、前記溝のそれぞれの断面の境界を形成する、請求項 1 に記載のリファイナードディスク。

【請求項 3】

前記溝のそれぞれの前記断面が、半円形又は半楕円形である、請求項 2 に記載のリファイナードディスク。

40

【請求項 4】

前記溝のそれぞれの中の前記少なくとも 1 つの回転誘導要素が、前記少なくとも 1 つの溝の軸に対して斜角に配向されており、前記斜角が 35 ~ 75 度の範囲内である、請求項 1 に記載のリファイナードディスク。

【請求項 5】

前記少なくとも 1 つの回転誘導要素が、前記少なくとも 1 つの溝の壁から内側に延在する一連の反復リッジを含み、前記反復リッジのそれぞれが、前記少なくとも 1 つの溝の軸に対して斜角に配向されるか、または傾斜した側壁を含む、請求項 1 に記載のリファイナ

50

ーディスク。―

【請求項 6】

前記少なくとも 1 つの回転誘導要素が、前記少なくとも 1 つの溝の長さに沿った波状パターンを有する前記少なくとも 1 つの溝の側壁によって形成された前記溝の中の一連の狭い領域を含み、前記側壁のうちの 1 つの側壁上の前記波状パターンが、前記側壁のうちのもう 1 つ別の側壁上の前記波状パターンからオフセットされている、請求項 1 に記載のリファイナードディスク。

【請求項 7】

前記溝の下半分での前記少なくとも 1 つの回転誘導要素の高さが、前記溝の上半分での前記少なくとも 1 つの回転誘導要素の高さと比較して大きい、請求項 1 に記載のリファイナードディスク。

10

【請求項 8】

前記少なくとも 1 つの回転誘導要素が、前記少なくとも 1 つの溝の中の一連の回転誘導要素であり、前記回転誘導要素の高さが、前記少なくとも 1 つの溝の半径方向外側方向において増加する、請求項 1 に記載のリファイナードディスク。

【請求項 9】

前記少なくとも 1 つの回転誘導要素が、前記少なくとも 1 つの溝の軸に対して斜めに配向されている全高のダムを形成する回転誘導要素を含む、請求項 1 に記載のリファイナードディスク。

【請求項 10】

20

リファイナードプレートセグメントであって、

前記リファイナードプレートセグメントの前面上の叩解ゾーンと、

前記叩解ゾーン内の叩解バーと、

前記バーの間の溝と、

前記溝のうちの少なくとも 1 つの中に少なくとも 1 つの回転誘導要素と、を備え、

前記少なくとも 1 つの回転誘導要素が、リーディング側壁、リッジおよびトレーリング側壁を備えた半螺旋状要素であり、

前記少なくとも 1 つの回転誘導要素が、前記少なくとも 1 つの溝の少なくとも 1 つの側壁の上又は中に配置され、前記少なくとも 1 つの回転誘導要素が、前記少なくとも 1 つの溝を通して流れる供給材料に螺旋流を付与するように構成されている、―

30

リファイナードプレートセグメント。―

40

50